

平成二年一月二〇日発行

第二五三号

大豊町中央公民館編集
印刷高知印刷株式会社

大豊

館報

十二月末の人口 世帯数

世帯三、二二六戸

男三、九一四人

女四、三四六人

人口八、二六〇人



完成間近の嶺北21世紀休暇センター全景



同センター（1階）イベントプラザ

◎省エネは

未来の子供への

おくりもの

二月は、省エネルギー月間です。

エネルギー資源は、有限なものです。

エネルギーを効率よく使うことは、

未来の子供たちへの貴重な贈り物と

なることでしょう。

まず、身近で省エネルギー対策を
行いましょう。

◎環境問題も

お互いに考えましょう。

山、川、谷、道、などに物を捨て
ない。まず自分の周囲から環境衛生
に取組みましょう。

◎美しい町づくり、

住みよい町づくり、

ご協力下さい。



平成二年 年頭のあいさつ

大豊町長 渡辺 盛男

明けまして おめでとうございます



渡辺町長

「庚は金の兄」「午は駿馬」金の兄貴を駿馬が運んでくると言つ誠に縁起のよい年でもあります。

お陰をもちまして、平成元年度における本町の行財政運営は全般に亘り、極めて順調に運営され新しい時代、二十一世紀の到来に向けて、その対応が整いつつありますことは皆様と共に誠に御同慶に堪えない所であります。

これ偏に町民並びに議会の皆様方の温かい御理解とご協

力の賜であり厚く御礼を申し上げます。

さて、平成二年度におきましては「森と水、ふれあいの里、高知嶺北」のスローガンのもと、嶺北五ヶ町村の個性を連ねた創造、体験、交流の地域づくりを嶺北広域の事業として推進すると共に、待望の家族旅行村の調査設計を始め、嶺北二十一世紀休暇センターのオープン等、平成四年

四国横断自動車道の開通に対応する諸施策の展開、小規模多数参加による特別五品目の生産拡大等、農林業の振興と道路並びに、ほ場整備など社会資本の充実、生涯教育を基本とした人づくり運動の展開、健康づくり、社会福祉の充実等々私共に課せられたその責務の重大さを肝に銘じ全職員一致協力、一層の努力を傾倒する所存であります。

昨年は各小学校下毎に、ふ

るさと創生について、種々有益な御提言を頂く機会がありました

が、このように全町民が一つ心になって「豊かで明るい町づくり」「ふるさと創生」という共通の目的に向かってそれぞれ立場から参加し力を発揮することが町発展の基本であります。

それを支えるのが、町是とも言うべき「和衷協力、融合一体」「即ち和」を基調とした創業の精神（こころ）の自覚と再認識であると考えます。

乾坤一転、立ち返った新しい年は、新しい太陽と共に私達の上に輝いております。

私は皆様の町行政に対する信頼と期待に応えるべく議会と相図り相提携し、本町の生成発展の上に懸命の努力を致します。

重ねて町民各位の御理解とご支援をお願いして止みません。

終わりに臨み皆様一層のご隆昌、ご健勝をご祈念申し上げます。年頭の御あいさつと致します。

平成二年一月一日

首長の年賀状

地域が機能するためにはやはり若者の積極的な活動が必要。ことしは「若者が集う町づくり」をテーマに、ふるさと創生も、若者が大いに知恵を出し活用してもらいたいと考えている。

『文化』『伝統』『国際感覚』この三つを学び実践する場を整備する。文化では本町出身の笹岡忠義先生の徳をたたえ、記念館を建設。また伝統では、全国、世界にもない碁石茶の博物館を、近く完成する嶺北二十一世紀センターわきに建設する。さらに国際感覚を学ぶ場としては定福寺近くに国際交流センターを整備。外国人と気楽に交流できる場としたい。

ことしは庚午（かのえうま）。金の兄を千里を走る馬が連れてくるという縁起のいい年。大いにハッスルしていきたい。

（高知新聞首長さんの年賀状よりの抜粋）

若者が集う町づくり

新しい年の始めに当たり、町民の皆様が益々ご健勝で幸せな年でありますよう心から御祈念申し上げ、又大豊町にとりまして一層光輝ある年でありますことを皆様方と共に祈念する次第であります。

昨年は、昭和天皇御逝去の年でもあり全国的に自粛ムードの中で経過いたしました。が、本年は、平成天皇即位の御大典、礼宮様、紀子様のご結婚の慶事が予定され、世界的には東ヨーロッパの自由化の波に象徴される東西平和の幕開け、それに唇をみますと本年は庚午（かのえうま）の歳であります。



町長・書「和」

町議会議長あいさつ

“二十一世紀へ向かっての基盤づくりを”
明けておめでとうございます。



松岡町議会議長

皆様方ご家族お揃いで輝かしき平成二年の新春をお迎えのことと謹んでお喜びを申し上げます。

昨年中は終始変わらぬ御協力御支援を賜り着実に、しかも円満なる議会運営ができましたことに、衷心より敬意を表するものであります。

昨年は、強大国間での軍縮への歩みが見え、世界平和への明るい兆しの一方、経済的な諸問題は厳しさを増しているのが現状であります。

今日、殊に農業関係について貿易摩擦解消の手段として農作物の自由化が要求されていますが、本町の取り組みべき道は、過疎と高齢化の進行が極めて厳しい中ではございますが、農産物奨励五品目も

着実にその基盤体制に入りつつありますことは、誠に幸せなことで町民の皆様と共に心よりお喜び申し上げます。

今後とも県や関係機関のご指導を頂きながら、お互いの英知を結集し急変する国際社会に対応する努力が最大の急務であると考えます。

又、産業経済、文化の振興には、大豊町の特色、立地条件、大自然を最大限に活用し将来的な展望のもとに活力ある町づくりを致したいと考えます。

本年二月に完成予定の二十一世紀嶺北休暇センター、更には、平成三年中に竣工見通しの家族旅行村等、新しい時代に向かって進展をしつつありますとき、町民各位の尚一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。御多幸と御健勝をお祈りし、して年頭のあいさつと致します。

平成二年一月

大豊町議会議長 松岡勝英

町教育長 あいさつ



永森教育長

皆様方お揃いで新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

町教育行政につきましては常々温かいご理解とご協力を賜わり誠にありがたく心よりお礼を申し上げます。

小中学校の教育課程の基準が、この度改訂され本年四月から、その移行措置が行われ、小学校は平成四年度から、中学校は平成五年度から、新学習指導要領にもとづいて新しい学校教育が展開されることになりました。

今日の教育の在り方として、社会の変化に主体的な対応ができる豊かな心と道徳性を身につけた逞しい国民（人づくり）の育成が求められています。教育の究極の目的は、

言うまでもなく人格の育成にあり「知・徳・体」の調和を

図りながら個性を生かした教育を目指し、自己を大切にするとともに他に対しても敬愛の念をもって社会に生きるための公德心を養い、常に郷土を愛し、ひいては自国を大切に

する心情をもった人間性の育成の推進においては、一人一人に行きとどいた基礎的な内容を重視し、学校、家庭、地域との連携を密にし、道徳教育の徹底を図り、健康な体と基本的な生活習慣を身につけ家族の一員として、お互いの立場を理解し、尊敬し、協力し合う心豊かな人間の育成、そして日本国民として我が国の国旗及び国歌の意義を正しく理解させ、それを尊重しうる日本人としての自覚を育て、諸外国の国旗、国歌を

も同様に、これを尊重する態度を育てることが、今日の日本において極めて重要なことであります。

町づくりは人づくりであり生涯学習の観点にたつて「心豊かな人づくり、町づくり」を行政課題として、心身共に

健康で創意と自主性に富む調和のとれた「和衷協力、融合一体」の精神のもと常に創業の心をもって、伝承を守り、故郷を創造する人づくりに、教育委員会職員一同努力する所存であります。

皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

終りに皆様方の益々の御多幸とご繁栄を祈念申し上げます。頭の御挨拶と致します。

平成二年一月

教育長 永森信良

明けておめでとうございます

本年も、ご指導ご協力をお願い致します。

町長 渡辺 盛男
助役 西岡 仁司
収入役 三浦 紀秀
教育長 永森 信良
行政課長 小笠原武生
企画室長 鎌倉 宏
議会事務局長 原 勉
出納室長 三谷 岳生
住民課長 秋山 正治
建設課長 杉本 信量
産業課長 山崎 博資
教育次長 松下 健一
学校給食所長 近藤 明
役場職員一同

【社会人として新しいスタート】

成人式典より

大人の自覚と責任の重さを確認



平成2年1月15日（大豊町成人式典から）

大豊町連合青年団（団長 都築清）では、教育委員会と共催で、平成二年の成人式典を去る一月十五日午前十時から農工センターで行ないました。

この式典は、昭和四十九年

以来、町連合青年団員によって運営され厳粛に行われた。本年の該当者は、七十八名で、早朝から和洋服姿の若者

や来賓の方々約百五十名余りが出席し、大人への門出を祝福しました。

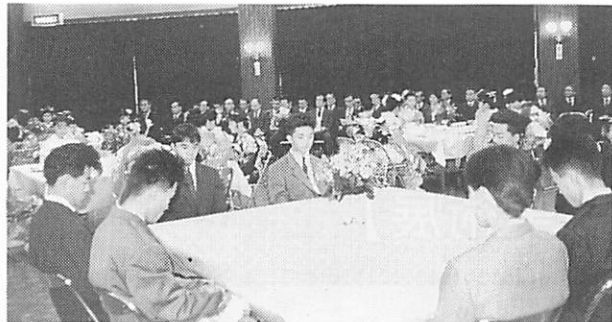
平成元年度成人式対象者名簿

氏名	主 部 落	上村 弘	大 桃 原	永野 幸美
岡林 昌彦	武敏 戸手野	北村 俊二	利男 永 洩	秋山 かおり
西村 光正	光正 馬瀬	竹口 弘	福芳 永 洩	山本 紀美
岡林 勝一	秀信 馬瀬	近藤 啓明	清市 八 川	森下 さゆり
吉永 浩二	義春 久寿軒	岡崎喜三郎	徳太郎 岩 原	原 美喜子
大石 福男	林 久寿軒	小笠原幸司	利博 岩 原	森下 桂子
楠山 禎郎	良一 小 川	下村 吉彦	照子 岩 原	徳弘 美智
滝田 隆雄	隆雄 高須	下村 幸彦	照子 岩 原	松浦 まつ代
上村 政作	春樹 高須	小笠原張生	照子 岩 原	松浦 竹美
藤丸 公仁	忠勝 日浦	森久保龍也	克安 岩 原	上村 由美
大石 孝正	崇 大王上	西村 勝三	一夫 川 井	三谷 皆恵
永野 政行	幸恵 川口南	三谷 和仁	賢太郎 大畑井	上村 千佳
佐々木隆彦	住雄 穴内一	永森 清司	清水 南大王	吉岡 環
都築 峰生	長生 穴内二	上地 昭宗	時宗 柚 木	柳村 美代
岡本 裕樹	修二 穴内三	山中 達良	光重 八 畝	小笠原美加
森下 浩二	勝 目付	三谷 哲雄	昭 野々屋	白木 陽子
鎌倉 実紀夫	安一 川口	吉村 明仁	勝明 庵 谷	大家 千枝
鎌倉 正幸	一喜 一の瀬	西村 正平	正尚 八 畝	岡崎みゆき
富山 力	力 刈屋	重森 理恵	要 久寿軒	下村 由紀
上池 典通	豊水 西土居	大石 美佐代	憲彦 久寿軒	門田 真弓
都築 浩和	保喜 中屋	西岡 砂織	宗歳 久寿軒	平石 美和
釣井 求	洋 船戸	西岡 美智	吾郎 北川二区	池田 博子
石川 一博	博文 船戸	豊永 利恵	ハギコ 津家	西村 直美
池添 文男	繁政 船戸	丁野 妙	豊仁 日浦	山 清美

式典受付風景



新成人いささか緊張さみ



メッセージ

成人おめでとう

成人・即ち人に成ると書く、本日の成人の日を機に大人になられた皆さんに心から祝福を贈ると共に次のことを期待したい。

その一つは、まず成人として自活できる道を拓くことであり、そして自活する為には強く逞しい体力と、世のあらゆる苦難に堪えうる精神力が必要である。

「どんなスポーツでもよい大いに体を鍛えてほしい。」

もう一つは、郷土を大切にしていほしいと言つことである。

「ふるさと」は遠くにありて思うものとは、良く聞く言葉であるが、千数百年の歴史と文化を誇る大豊の土地、父祖の汗と脂のしみこんだ伝来の田や畑、みはるかす山野の緑、豊かな水、こんな素晴らしい故里について、更に郷土愛・祖国愛とは何か、この日を機会に是非考えてほしいと思う。乾坤一転、立ち返った新しい年と共に若い皆さんには限りなく開かれた人生がある。その人生をどう生きるかは、誰でもない皆さん自身が選択し、決断するものであることを自覚してほしい。

皆様方の将来に幸多からんことを祈念いたします。

大豊町長 渡辺 盛男

平成二年 成人の日に



謝辞 久寿軒 西岡砂織さん



成人の誓い 岩原 小笠原幸司氏

晴れやかな会場



成人式を
迎えられた
皆さんに！

成人式を
迎えられた
皆さんに！

ご成人おめでとうございませう。皆さんに心からお祝いを申し上げます。

ご存じの通り成人になられると、いろいろな権利が認められます。皆さんに認められる重要な権利の一つとして選挙権がありますが、同時に是非とも記憶に留めておいていただきたいものも一つあります。

ります。それは、検察審査会の審査員に選ばれる資格を持つことです。そこで、検察審査会という制度を簡単に説明いたします。

検察審査会制度は、検察官の仕事に国民の声を反映させようという目的でできたものです。例えば、交通事故や詐欺など犯罪の被害にあつて警察や検察庁に訴えたのに検察官がその事件を起訴してくれない。このような場合に、検察官の不起訴処分に対する不服のある人の申し立てを受けて、事件を調べ直し検察官の処分の善し悪しを審査するのが、この制度なのです。

検察審査会は、選挙人名簿の中から、くじで選ばれた十一名の審査員によって構成されます。成人になられた皆さんは、この検察審査員に選ばれることがありますので、選ばれたときは進んで、ご協力をいただきたいと思っています。尚、詳しくは下記にお問合わせ下さい。

○高知市丸ノ内一丁目3-5
裁判所内

☎〇八八八-二二-〇三四〇
高知検察審査会に連絡下さい

大豊町から数々の入選

【嶺北総合美術展】

第十九回嶺北総合美術展の作品審査が、去る十月二十七日に土佐郡大川村山村開発センターで行われ、特選十一点(うち大豊町五点)、褒状二十三点(同五点)、入選百十三点(同二十六点)が決まりました。

作品は当番の大川村を皮切りに最後の大豊町(十二月九日・十三日)まで各町村を展示巡回されました。

◎ 町内の入賞者と審査評は次のとおりです。

◇ 絵画の部

特選 「くろのある風景」

竹内 敬訓 (高須)

同 「人物」

朝比奈富美男 (同)

褒状 「女」

原 主幸 (船戸)

入選 山本 桂 (中村大王)

同 小笠原信夫 (同)

同 浜田 豊高 (日浦)

推薦 丁野 志げ乃 (高須)

審査評 第一印象として確かにレベルアップしているように感じた。ただあまり小さい作品は、審査の対象として

力量を計りかねる点があるの
で、出品号数の最低限度を、
もう少し上げざるを得ない。
たい。

◇ 書道の部

特選 「午倦」

松浦 延和 (寺内)

褒状 「百人一首」

小川 みや (高須)

同 「党懐英詩」

三谷 和子 (寺内)

入選 西村 佳子 (東土居)

同 秋山 和子 (同)

同 飯田 和子 (高須)

同 三村 悦子 (上東)

同 北村 幸身 (永測)

同 小笠原恒子 (川口南)

無鑑査 西村 浩一 (東土居)

審査評 出品者の意欲が作

品を通して感じられた。作品
を作るには作者の感性のひら
めきを大事にしなければなら
ないが、それを定着させて作
品とするには、技術の裏付け
がないと観る人を感動させな
い。その技術の修得は書の場
合、古典の臨書を重ねるより
ないと思う。古典の勉強を通

して素材としての文字性(造
形を含めて文字の約束)、線
性、運筆、用筆、構成の要領
を身に付けてほしいと思いま
す。入賞作はその点、よく鍛
練されていると思います。

◇ 彫塑・工芸の部

特選 「秋海棠文灰釉壺」

門田 勝喜 (東土居)

同 「聖観音菩薩像」

釣井 義光 (栗生)

褒状 「鶏頭」

弘瀬 清美 (杉)

入選 三谷 晴喜 (大畑井)

同 秋山 花 (川口南)

同 富山 行盛 (磯谷)

同 岡林千代恵 (戸手野)

同 二点門田勝喜 (東土居)

推薦 西岡 富美子 (本村)

審査評 それぞれの方が、

それぞれの営みの中で制作さ
れた作品には、生活のぬくも
りを感じます。
ものを創ることは、大変心
楽しい手業ですが、高じてく
ると、上手に、うまく作ろう
と苦心する難行です。しかし、
心打つ作品は、やや未熟さを

◇ 写真の部

褒状 「新入児、初めての給
食」

田村 善穂 (黒石)

入選 佐々木弘明(穴内二区)

同 岡本 淳(穴内三区)

同 田村 善穂(黒石)

同 原 幸子(中村大王)

同 二点 秋山 勝重(寺内)

同 二点 松浦 延和(同)

同 松浦 美恵(同)

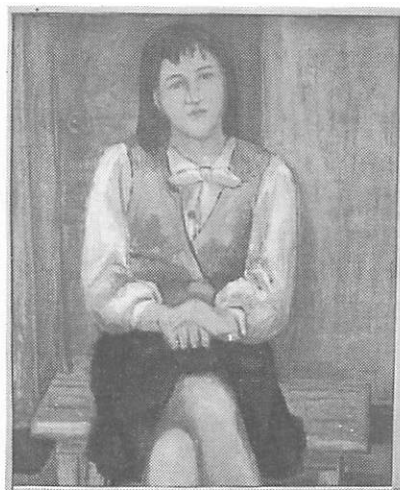
同 朝比奈富美男(高須)

審査評 上位入賞の作品

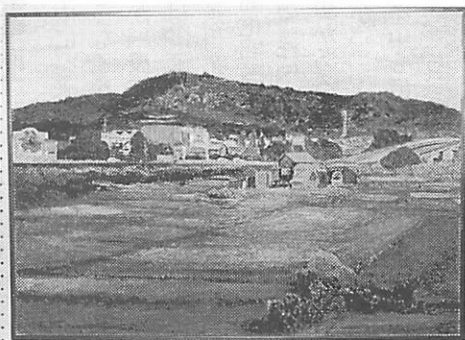
は、昨年よりも内容、技術共
に大幅にレベルアップしてい
て驚きました。本年の特徴は、
地元の素材に目を向けたもの
が多く、親近感ももてます。
やはり、この展覧会では、
よそ行きに取り澄ました作品
よりも、地域の日常性に目を
向けたものに感銘を受けま
す。今後も、嶺北ならではの
掘り下げた視線に留意してほ
しいと思います。

残す中にあると思います。

「嶺北展」
特選作品から

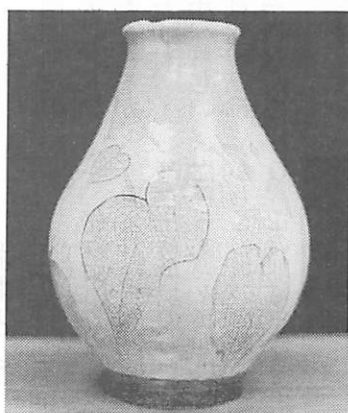


特選「絵画」朝比奈富美男 画



特選「絵画」竹内敬訓 画

「特選五点」
の紹介

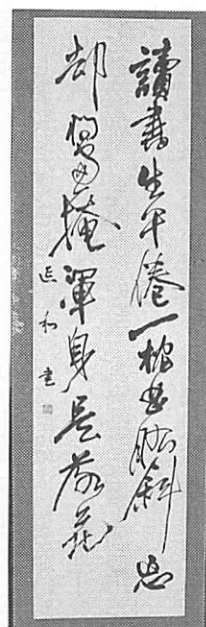


特選「工芸」門田勝喜 作

審査員評
画、「くろのある風景」は横線がシャープに生かされて空間に広がる空気と光が美しく描かれている。

審査員評
画、「人物」は、力まず素直に描かれているのが逆に人間味を出した作品、静かな良作である。

特選 松浦 延和（書道）



審査員評

書午倦は、明清調で筆よく動き、大小の配合、行行の響き合いもよろしく、良く貫通している。

審査員評

工芸、「秋海棠文灰釉壺」は、秋の秋海棠を題材に自然を良く見つめた独創性があると思います。既成の壺を越えた味わいのある作品です。

審査員評

工芸「聖観音菩薩像」は、楠木の一木造りで大変誠実な仏像で、衣紋の中にはしっかりと身体が存在しているし、静かな動勢の中に高貴な品を備えている。

審査員の紹介

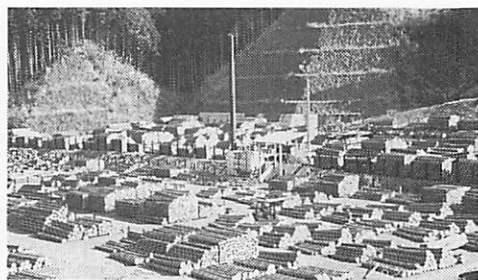
- 絵画 桑尾寿秋先生
- 書道 中平松鶴先生
- 写真 岡崎達彦先生
- 工芸 大野良一先生



特選 釣井 義光（粟生）

大豊町の活性化「基本構想」

二十一世紀に向けての対応



川口南 森連嶺北木材共販所

していますが、今回は、その基本構想（案）の一つを紹介しします。

◎目 標

四国山地中央、山間地域の厳しい自然条件のもと、長い歴史に培われてきた生活をかたくなに守ってきた山村、高度経済成長の中、厳しい

対応を迫られ、過疎化、高齢化と地域の衰退を余儀なくされてきた山村、

この山村が高速交通時代を迎える好機をとらえ、山村ゆえの特性を活用した地域活性化により、この地に暮らす人々の生活の安定、向上を図り「国民休暇県高知」の一ふるさとやまなみゾーン」の一端を担う豊かで個性に満ちた甲斐あるくらしの里「いきがいおおとよ」を実現するため、次の目標を設定する。

○「いきがいおおとよ」を基本とした。（すみよさづくり）（ゆ

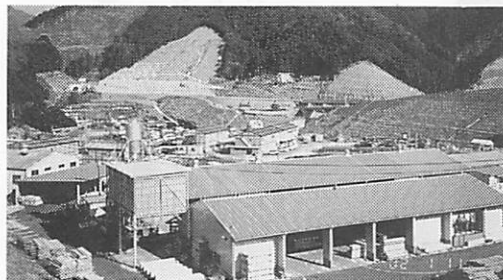
たかさづくり）（しあわせづくり）（人づくり）（里づくり）

◎「いきがいおおとよ」

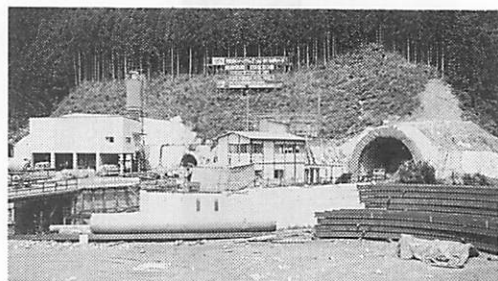
将来像 五項目

一、住みよいくらしの町

恵まれた自然と調和した快適な生活環境のもと、この地に暮らす人々が近代的で、しかもこの地の自然と一体となり、この地に生きることの誇



川口南 工業団地



高速道 笹ヶ峰トンネル工事

りをもって、充実したくらしのできる町「おおとよ」

二、豊かなくらしの町

恵まれた自然環境、整備された生産基盤のもと、地域の自然と調和した、農林業を核とする活力みなぎる産業活動英知を結集した創造活動により、この地に暮らす人々が、豊かなくらしのできる町「おおとよ」

三、しあわせなくらしの町

恵まれた自然環境の中、優れた社会福祉、保険制度のもと、連帯と協調の心をもってこの地に暮らす人々が健康でしかも充実した、しあわせ暮らしのできる町「おおとよ」

四、心豊かな人々の町

恵まれた自然環境のもと長い歴史に培われてきた大豊、このおおとよを愛し誇りをもって明日のおおとよを担う子供たちが育ち、生涯学習活動を通じて、ふるさと大豊の伝統に根ざした新たな文化を創造する心豊かな人々の町「おおとよ」

五、みんなでつくる里

一人一人の人が、この地に暮らすことに誇りと自覚をもち、地域づくりに積極的に参加することにより、お互いの連帯のもと明日のおおとよを築く、みんなでつくる里「おおとよ」

◎こうした構想には、現実的な課題も多くあることを認めながら対応することが重要である。「すべてが生涯学習」

二十一世紀に何が残るか。

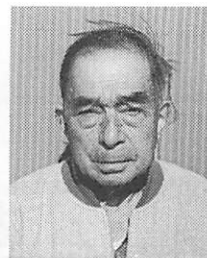
また、何を残せるか。

サア一皆で考えてみよう。

次回は、「いきがいおおとよ」生涯学習を推進する中で、現実的な課題と問題点を考えるを、掲載予定です。

○資料は、第四次大豊町総合開発計画（案）検討資料からの抜粋です。

日本新記録樹立 ガシバついでいます



東土居 竹定吉勝さん

去る九月十七日「八九」高知マスタース水泳大会が行われ、大豊町から東土居の竹定吉勝氏（八〇歳以上）が出場、自由形（グールプ）八〇歳以上の部）距離二五mを二〇秒六〇で、みごと日本新記録を樹立、大豊町の老人パワーを水泳で発揮しました。

竹定さんは、若いときから水泳に親しみ、現在も高知市のスイミングクラブに加入し、一週間に一回二回通い自分の健康管理をしながら水泳やゲートボールを楽しんでいるようです。

大豊町には、一般の楽しめるプール施設がないのが残念とのことでした。

竹定さんには、今後とも益々ガンバッテ頂き後進の指導等もお願い致したいと思いま

す。

【貴重な図書のご寄贈】
誠にありがとうございました。

ございました。

本町には農工センターに図書室があり、三千冊ぐらいの図書を置き、町民に貸出し多くの方々が利用しています。このたび大豊出身者の三名の方々から、貴重な図書の寄贈や図書購入資金を頂きました。教育委員会では、図書室の整備、図書の拡大等を行ない、広く皆様方に利用して頂きたいと願っています。



鈴木県議会議長、図書の贈呈

年金額引き上げ—平成元年4月に遡って実施—

今回（平成元年度）の改定は、5年に1度の財政再計算を行う年で、賃金や生活水準の向上に伴って見直され大幅に引き上げられました。

また、年4回（2、5、8、11月）支払っていた各基礎年金等は、平成2年2月期から年6回（2、4、6、8、10、12月）支払いに改善されました。これで全ての年金（老齢福祉年金を除く）が年6回に統一されました。

	引上げ時期	S .63 .4 ~		H .1 .4 ~		支 払 月
	引上げ率	0.1	%	財政再計算		
年金種別		年 額	月 額	年 額	月 額	
《基礎年金》						
老齢基礎年金		627,200	52,266	666,000	55,500	年 6 回
障害基礎年金(1 級)		784,000	65,333	832,500	69,375	2 月
障害基礎年金(2 級)		627,200	52,266	666,000	55,500	
遺族基礎年金(子1人)		815,300	67,941	858,000	71,500	
加算の子2人まで		188,100	15,675	192,000	16,000	4 月
3人以降		62,700	5,225	64,000	5,333	
《国民年金》						
10 年 年 金		389,800	32,483	404,600	33,717	6 月
5 年 年 金		331,800	27,650	344,400	28,700	8 月
23 年 年 金	※	571,200	47,600	608,500	50,708	
障 害 年 金(1 級)		784,000	65,333	832,500	69,375	10 月
障 害 年 金(2 級)		627,200	52,266	666,000	55,500	
母 子 年 金(子1人)		815,300	67,941	858,000	71,500	12 月
加算の子2人まで		188,100	15,675	192,000	16,000	
3人以降		62,700	5,225	64,000	5,333	
《老齢福祉年金》						
全 部 支 給		330,000	27,500	340,800	28,400	4 月,8 月,12 月

※新年金額と改定差額は 厚生年金2月1日 国民年金2月15日 に支払われます。

なお、厚生年金の現金支払いは2月13日となります。

「寄贈下さいました方々をご紹介します。大豊町立川出身、高知市在住（高知県議会議長）「鈴木康夫」氏から、毎日新聞社発行、文化庁監修「国宝全集十五巻」の寄贈を受けました。

「大豊町西峰出身（神奈川県在住）「前田龍雄」氏から、貴重図書二百五十冊あまりを寄贈頂きました。大豊町西峰出身（東京在住）東京嶺北会長「小松延秀」氏からは、図書購入資金として、

多額の寄付を頂きました。尚、小松延秀氏には、毎年図書の購入費として、多額のご寄付を頂いています。誠にありがとうございます。心からお礼を申し上げます。

「20歳からです国民年金」

多くの権利と義務が生じる20歳、
国民年金に加入することも義務のひとつです

成人式を迎えられた皆さん

おめでとうございます。



平成2年、町成人式から (大豊町農工センター)

わが国は長寿国、人生たっぷり80年。長生きできることは素晴らしいことです。

21世紀の高齢化社会にむけて、20歳で人生設計のスタートを！

国民年金は、すべての国民に共通の「基礎年金」を支給する制度です。国民全体がお互いに協力しあって、老後の生活の安定を図ろうとするものです。

若いときには年金のことは「ずっと先のこと...」と思われませんが、いつかは老年を迎える日がきます。また、病気、事故による障害などそんな「もしも...」のときの備えとして、欠くことができないものです。

20歳から60歳までは、いずれかの年金制度に加入しなければなりません。厚生年金や共済組合に加入していない人は、20歳になったら市町村役場で国民年金の加入手続をし

てください。

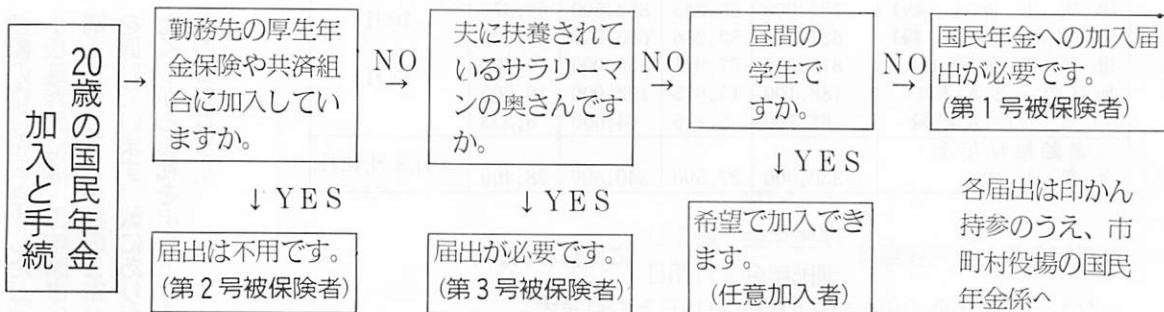
大学生の方も

国民年金

大学や専門学校などの昼間学生の人、国民年金への加入は義務づけられていませんが、希望すれば加入できます。(任意加入者)

将来有利な年金を受けられるように。また、万一交通事故などで障害者になってしまったときは、加入していなければ障害基礎年金を受けることができませんので、大学生の人もぜひ国民年金へ加入しましょう。

加入手続は市町村役場の国民年金係でとってください。





仕事に追われ、多忙の上ない生活を送ってきた人も、定年を境として仕事から解放され、余暇ばかりの生活を余儀なくされます。もちろん、年金だけで生活をするのが難しい人も、少なくありません。新しい仕事に就く方もおられることでしょう。しかし、高齢期を迎えて、仕事で生きがいを見いだしていくことも、なかなか困難な面があるようです。やはり、余暇をどう過ごすかが、大事になってきます。

仕事以外の ライフ・ワークを

余暇を若い時から重視してきた人は、待ってましたとばかり定年後、趣味や好きなことに打ち込むことができます。なかには、ライフ・ワーク（一生の仕事）にまで高めようと頑張る人

も出てきます。

しかし、そう恵まれた人ばかりではありません。生活環境の変化に戸惑い、何を

生涯学習 手習いのすすめ

高齢時代

それまでのいろいろな人生のツケが回ってくるものですが、余暇もその例外ではありません。若い時代から、コツコツと余暇の習熟に励んできた人は、高齢期になっても、余暇を生活の中に取り入れて、毎日いきいきと過ごせます。

初心に戻って
新しい世界へ

若い時から、家庭や地域

を顧みず、仕事一筋に生きてきた「仕事人間」の人たちほど、定年を迎えて、ほとほと困ってしまうことが多いようです。生きがいのある日々を送るために、三つのアドバイスをしたいと思います。

一つは、若いころの自分に帰ることです。どなたも、かつて夢中になって何かに打ち込んだ時期があったはず。そういう自分をもう一度取り戻すのです。

二つは、開き直って初心に戻り、六十、七十歳の手習いを実行することです。そのためには自分の興味と関心のある対象について、これはと思う先生を探し、一から始めるのです。

三つは、自宅の近くで趣味などのサークルを見つけて、入会することです。「いまさら」などというこだわりは捨て、勇気を出して新しい世界の扉を開けましょう。

消費トラブルに 「用心」

「用心」

近年、健康やお金に関する不安を巧みにくすぐり、あの手の手で商品を買わせようとする悪質なセールスが多くなっていますので被害やトラブルを未然に防止するため、ご注意ください。

訪問販売を利用する際には本当に必要かどうかを考え、いらないう。購入する際には必ず書面を受け取り、その内容をよく読んで確認するとともに大切に保管しましょう。

◎こんな手口にご用心

「日用品などの安売りをします」といって人を集め、熱狂的な雰囲気盛りあげ催眠状態のなかで羽毛ぶとん、健康食品等を市価の数倍で売っている催眠商法、頼みもしないのに送りつけてくる送りつけ商法、キャッチ商法、開運商法等々……。

◎クーリング・オフをご存じですか？

訪問販売で、商品等を購入

した場合には、それが本当に自分に必要なものかどうかを冷静に考えるための期間が法律によって与えられています。商品等を購入した際には、書面を受け取った日から八日以内であれば無条件で解約することが出来ます。これがクーリング・オフ制度です。クーリング・オフは、簡易書留や内容証明郵便などの書面で行いましょう。

高知県消費生活相談員
大豊町 黒石 大利 愛
TEL 七三〇六〇六番に
ご相談下さい。

「くれぐれも注意」



「お買いものは、町内で」

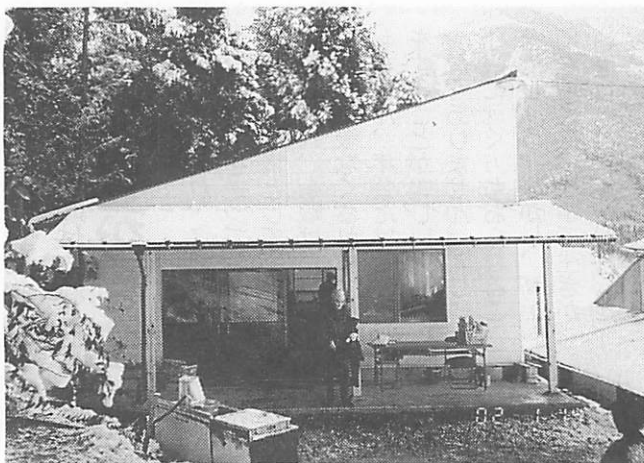
福寿草まつり

嶺北の春は、

大豊の福寿草まつりから

南大王「福寿草を育てる会」
(会長 佐竹弘義)では、二月二十五日から三月二十五日までの期間「福寿草まつり」を行います。
昨年度より町では、休憩所や駐車場を整備するなど行楽客の受入れ体制を整えています。

ですが、本年は特産品の加工所を兼ねた休憩所「木造平屋建て八十平方メートルで、総工費八百二十四万円」が完成、一月十四日、地元民や関係者多数が出席盛大に落成式が行われました。



完成した加工所兼休憩所



南大王の福寿草、ぜひご覧あれ

◎ 福寿草を育てる会では、「みんなでわかちあおう 故郷の味と香りと人情」

をテーマに南大王福寿草の里特別住民を募集する計画を立て、地域上げての取組みがなされ、町の活性化に役買っています。本年も準備万端整え多くの方々のおいでを待つばかりとなりましたが、町民の皆様方による「口込みの宣伝」を特にお願いすることとしました。

みんなでわかちあおう！
ふるさとの味と香りと人情を！

「南大王福寿草の里特別住民」募集要綱

1、趣旨

春の福寿草など花や緑であふれる自然と心豊かな人情の「福寿草の里」を自然や安らぎを求める「まち」の人々にさげ、私たち南大王福寿草の里の住民は、多くの方々との交流を図り、お互いに親睦を深め、併せて地域の農林業の振興を図ります。

2、特別住民

この趣旨に賛同する方々を南大王福寿草の里の「特別住民」に設定する。「特別住民」は、家族全員加入とする。ただし、大豊町住民以外の者とする。

3、申し込み

- (1)方法 電話又は葉書で世帯主(代表者)住所(郵便番号)氏名、性別、年齢、職業、電話番号、及び世帯主の氏名、性別、年齢、職業、続柄を明記し申込み下さい。
- (2)申込み先 高知県長岡郡大豊高須二二一 大豊町役場産業課 福寿草の里特別住民募集係
電話 〇八八七二一〇四五(内線一八番)
申込み期限 一月二〇日から二月二〇日
- (3)会費納入
会費 一世帯あたり二〇、〇〇〇円とする。
振込み方法 申込みの葉書がつきしだい振込通知書を送付しますので、下記口座に振込み下さい。
東豊永郵便局 口座名「福寿草を育てる会」
- (4)登録
会費納入によって会員とみなし、申込み記載の家族世帯全員を「特別住民」として、台帳に記載する。「特別住民会員証」は、特別住民の世帯主(代表者)のみに交付する。
- (5)有効期間 三月一日から翌年二月末まで
- (6)、募集世帯数 一〇〇世帯を限度とする。
- (7)、特別住民の特典

特別住民に次の特典を与える。

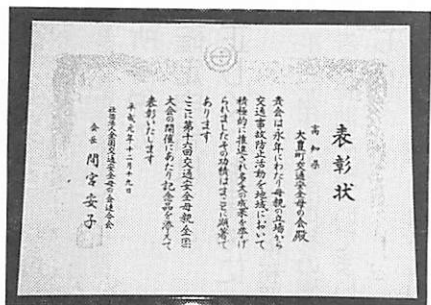
- (1)福寿草の里、ふるさとの味香(四季折々の特産物)及び特産物民芸品を年3回程度届けます。送付時期(四月頃、八月頃、十二月頃)
 - (2)ふるさとの家「が格安で利用できます。
 - (3)「福寿草まつり」に招待し、施設整備協力金(二二〇〇円)が免除します。
 - (4)山荘梶ヶ森の宿泊料が、二割引き料金で利用できます。
- ただし、大人二名様、子供二名様までと限定をします。八月は除き、宿泊の三日前に山荘梶ヶ森に予約をして下さい。

運営責任者 大豊町南大王福寿草の里
福寿草を育てる会 会長 佐竹弘義

電話 〇八八七二四一〇三九七



『交通安全母の会』 全国表彰受賞 おめでとうございます



大豊町交通安全母の会（大豊町連合婦人会）は、永年にわたり、母親の立場から交通事故防止活動を地域において積極的に取り組んできたことが認められ、去る十二月十九日東京で開催された「第十六回交通安全母の会全国大会」に於いて、「社団法人全国交通安全母の会連合会」会長より表彰されました。

この日は「大豊町交通安全母の会」を代表して、連合婦人会長の平石常子さんが出席し晴れの表彰状を受けられました。



町連合婦人会長
平石常子さん

皆様、あけまして
おめでとうございます。
昨年中は大変お世話になり

ました。今年もどうかよろしく
お願い申し上げます。
昨年十二月十九日「第十六回交通安全母の会全国大会」が東京歌舞伎座に於いて開催



表彰状を手に記念写真

されました。大豊町交通安全母の会が、母親の立場から交通事故防止活動を積極的に取り組んで来た事が認められ、全国表彰を受けることとなり、私が皆さんを代表いたします。私達母の会のスローガンであります「交通安全は家庭から」をモットーとして家庭において日常生活の中で話

に余る栄誉と、その責任の重大さを盡々と感じました。
会員の皆様方に、心よりお礼を申し上げます。報告いたします。これも先輩会長さん、役員の方々の永年の運動が認められたものであります。また特に杉地区高須婦人会の皆さんには、検問所の前等での街頭指導にご協力をいただいて居りますことを心よりお礼を申し上げます。

台いをもつ事が大切な事であり、また地域においても身近な人には、車には気をつけてねと「愛の一声運動」も大切な事だと思ひます。
大豊町民が一体と成り、家庭の中から交通事故の加害者、被害者を出さないよう、交通ルールを守り、明るい町づくりを願っております。

最近の全国交通事故の発生状況については、大変深刻なところがあります。私たち母親こそ「家庭における交通安全管理者」として自覚し特に子どもと高齢者を事故から守ることを使命として、これからも交通安全母の会活動を積極的に推進して参りたいと思つて居りますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
私達母の会のスローガンであります「交通安全は家庭から」をモットーとして家庭において日常生活の中で話



検問所前で街頭指導

